

● ISERROR 関数と IF 関数で #N/A を非表示にする

ISERROR 関数と IF 関数を組み合わせて #N/A が表示されないようにします。

ISERROR 関数

指定したセルに入力されている対象がエラーかどうかを調べます。対象がエラーの場合は「TRUE」を返し、エラーでない場合は「FALSE」を返します。

①セル C5 をクリックし、②数式バーの「=」と「V」の間をクリックしてカーソルを表示させます。

	A	B	D	E	F	
1						
2						
3		売上計算表				
4		品No	商品名	単価	個数	金額
5			=VLOOKUP(B5,\$H\$5:			
6						

① if と入力すると、下図のように関数のリストが表示されるので、②「IF」をダブルクリックします。

	A	B	D	E	F
			=if/VLOOKUP(H\$5:\$J\$13,2,FALSE)		
			IF		
			IFERROR		
			IFNA		
			IFS		

下図のようになります。

=IF(VLOOKUP(B5,\$H\$5:\$J\$13,2,FALSE)

IF(論理式, [値が真の場合], [値が偽の場合])

① **is** と入力すると下図のように関数のリストが表示されるので、②「ISERROR」をダブルクリックします。

=IF(isVLOOKUP(B5,\$H\$5:\$J\$13,2,FALSE)

IF(論理式, [値が真の場合], [値が偽の場合])

- ISBLANK
- ISERR
- ISERROR
- ISEVEN
- ISFORMULA
- ISLOGICAL
- ISNA
- ISNONTEXT
- ISNUMBER
- ISODD
- ISOWEEKNUM
- ISPMT

下図のようになります。


=IF(ISERROR(VLOOKUP(B5,\$H\$5:\$J\$13,2,FALSE)

C ISERROR(テストの対象)

E


F

数式の一番右に) を下図のように入力します。




=IF(ISERROR(VLOOKUP(B5,\$H\$5:\$J\$13,2,FALSE))

IF(論理式, [値が真の場合], [値が偽の場合])

F 

続けて , "" , と入力します。




=IF(ISERROR(VLOOKUP(B5,\$H\$5:\$J\$13,2,FALSE)), "", ,

IF(論理式, [値が真の場合], [値が偽の場合])

F G

左側にある数式と全く同じ数式を入力します。



=IF(ISERROR(VLOOKUP(B5,\$H\$5:\$J\$13,2,FALSE)), "", VLOOKUP(B5,\$H\$5:\$J\$13,2,FALSE))

C D E F G H I

Enter キーを押すと、#N/A が消えました。

文房具売上計算表				
商品No	商品名	単価	個数	金額
金額合計				

オートフィル機能で数式をコピーします。

セル C5 をクリックし、右下にマウスポインタを合わせるとマウスポインタの形が「+」になるので下へドラッグします。

2						
3		文房具売上計算表				
4		商品No	商品名	単価	個数	金額
5						
6						
7						
8						
9						
10		金額合計				
11						

下図の通りにドラッグします。ですが、このままでは「金額合計」と入力されているセルの上の罫線が細い罫線になってしまうので、修正します。

「オートフィルオプション」をクリックします。

2						
3		文房具売上計算表				
4		商品No	商品名	単価	個数	金額
5						
6						
7						
8						
9						
10		金額合計				
11						

操作リストが表示されるので、「書式なしコピー (フィル) (Q)」をクリックします。

2						
3	文房具売上計算表					
4	商品No	商品名	単価	個数	金額	
5						
6						
7						
8						
9						
10	金額合計					
11						
12						
13						



下図のようになります。

2						
3	文房具売上計算表					
4	商品No	商品名	単価	個数	金額	
5						
6						
7						
8						
9						
10	金額合計					
11						



空白セル（テキストではセル A1）をクリックすると、「金額合計」の上にある罫線のスタイルが変わっていないことが確認できます。

	A	B	C	D	E	F	G	
1								
2								
3		文房具売上計算表						
4		商品No	商品名	単価	個数	金額		
5								
6								
7								
8								
9								
10		金額合計						
11								

罫線のスタイルは変わっていません

★練習問題 4

単価を表示させるセルに、商品名のセルで設定した ISERROR 関数と IF 関数を組み合わせた数式を参考に入力してください。

下図は完成見本です（参照先 84～89 ページ）。

	A	B	C	D	E	F	G	
1								
2								
3		文房具売上計算表						
4		商品No	商品名	単価	個数	金額		
5								
6								
7								
8								
9								
10		金額合計						
11								

試しに、下図のように商品 No と個数を入力してみてください。エラーが表示されなければ正しく数式が設定されていることになります。

	A	B	C	D	E	F	G	
1								
2								
3		文房具売上計算表						
4		商品No	商品名	単価	個数	金額		
5		A005	30cm定規	150	5	¥750		
6		B555			3			
7		A009	シャーペン	¥120	5	¥600		
8		A001	マジックペン	¥100	6	¥600		
9		B111			4			
10		金額合計					¥1,950	
11								

例題 4 はこれで終わりです。

STEP 4 IF 関数だけで #N/A を非表示にする

「例題 5」シートを表示してください。

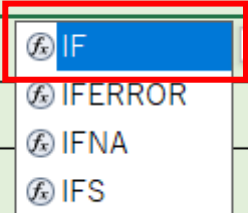
STEP3 では、IF 関数と ISERROR 関数を使って #N/A を非表示にしましたが、ここでは IF 関数だけで #N/A を非表示にします。

出来た方は、99 ページ「★練習問題 5」へ進んでください。


わからない方は一緒に操作しましょう。

一緒に操作しましょう

①セル C5 をクリックし、`=if` と入力すると下図のようになるので、②「IF」をダブルクリックします。

3	文房具売上計算表		
4	商品No	商	①
5		=if	②
6			論理式の結果
7			
8			
9			

下図のようになります。

3	文房具売上計算表		
4	商品No	商品名	単価
5		=IF(
6			

セル B5 をクリックすると、下図のようになります。

3		文房具売上計算表		
4		商品No	商品名	単価
5			=IF(B5	
6			IF(論理式, [値が真の場合], [値が偽の場合])	

="" , "" , と入力すると、下図のようになります。

3		文房具売上計算表		
4		商品No	商品名	単価
5			=IF(B5="" , "" ,	
6			IF(論理式, [値が真の場合], [値が偽の場合])	

これで、セル B5 が空白の場合は空白にする、という意味になります。

キーボードから **vl** (VとLの小文字) を入力すると、下図のようになりますので、TAB キーを押します。

3		文房具売上計算表			
4		商品No	商品名	単価	個数
5			=IF(B5="" , "" ,vl		
6			IF(論理式, [値が真の場合], [値が偽の場合])		
7			 VLOOKUP	指定された範囲の 1 列	

下図のようになります。

3	文房具売上計算表				
4	商品No	商品名	単価	個数	金額
5		=IF(B5="", "", VLOOKUP(
6		VLOOKUP(検索値, 範囲, 列番号, [検索方法])			

①セル B5 をクリックして、② , (カンマ) を入力すると、下図のようになります。

3	文房具売上計算表				
4	商品No	商品名	単価	個数	金額
5		=IF(B5="", "", VLOOKUP(B5,			
6		VLOOKUP(検索値, 範囲, 列番号, [検索方法])			